WOOD コレクション（モクコレ）令和元年
出展結果

１．日　時：　令和元年 12 月 10 日（火）　10：00　～　17：30
　　　　　　　令和元年 12 月 11 日（水）　10：00　～　16：30
２．場　所：　東京ビックサイト 南展示棟 南３・４ホール　静岡県ブース
　　　　　　（東京都江東区有明 3-10-1）
３．結　果：

１）概　要

　東京都が主催する「モクコレ令和元年」に静岡県との共催にて「静岡県ブース」を主催・出展した。県内企業等 11 者が出展し、首都圏企業等を中心に地域材製品等を PR した。

２）参加者

　県ブース　下表の 11 者（企業・組合９者（うち組合員８者））　※展示規模：10 小間
　全　　体　41 都道府県の 268 者

No	出展者名	出展内容
1	㈱キシル	幼児施設向け FSC 家具
2	Next Generation Next Vision WG (浜松市、天竜森林組合、春野森林組合、引佐町森林組合、㈱フジイチ、㈱鈴三材木店、㈱マルホン、鹿島木材㈱)	天竜材・FSC 認証材
3	㈱きんぱら	県産材ヒノキのユニットバス
4	㈱J・ウッド	パーソナルスペース
5	静岡木材業協同組合	納材事例紹介
6	㈱中部メンテナンス	難燃・不燃加工木材サンプル
7	デジタルファブリケーション㈱	レーザー加工製品
8	㈱Bb Wood Japan	不燃・準不燃加工木材サンプル
9	㈱ノダ	県産材フローリング
10	静岡県木材協同組合連合会	ブース総合受付（J パネルテーブル）
11	静岡県	おもてなしスペース　運営

３）内　容

① 出展内容

　「４回目」の出展となる今回は、過去３回の「オープン展示」を継承しつつ、「新たな物語、始まる」と題し、川上～川下の繋がり感じさせるイメージに一新させ、県ブースの一体感を演出し、接遇・PR に努めた。各出展者は、「産地ブランド・品質の高さ・デザイン性」等を PR した。

② 本会の対応

　県ブースの「受付」として出展し、来訪者への「ブース案内および資料配布等」に務めた。
　配布物：PR パンフレット一式・木製小物（JAS マグネット）　配布数：170 部

③ 出展結果について　※カッコ内は前回（モクコレ 2019）実績

　県ブース：1,127 名（1,258）　※出展者アンケートより集計、延べ人数
　　　　　　うち、名刺交換 372 名（575）、商談 17 件（58）、見積依頼 7 件（19）
　全　　体：4,200 名（4,500）　※主催者発表、12 月 16 日付

④ メディア掲載

　静岡新聞（12 月 11 日付朝刊）　～県産材、公共施設向け PR～

⑤ 開催の様子

　別紙画像集参照

令和元年(2019年) 12月11日 (水曜日)
静岡新聞

経済しずおか

県産材、公共施設向けPR

きょうまで都内で展示会

国産材の製品や加工技術の展示会「WOODコレクション（モクコレ）」が10日、東京・ビッグサイトで開幕した。県内からは家具や建材などを扱う9事業者が出展し、首都圏の公共施設向けを中心にデザインや機能をPRしている。11日まで。

全国41都道府県から約270業者が出展し、設計事務所やデザイナーなどのバイヤーと商談した。家具製造販売キシル（浜松市南区）は、県産の森林認証材を使った幼稚園・保育園用の棚やテーブルなどを展示。担当者は「流通大手を中心に森林認証の重要性が高まっている」と話した。

長泉町に工場があるビービーウッドジャパン（東京都）は、薬剤を浸透させて燃えにくくした不燃材を展示。内田建社長は「オフィスの休憩スペースや廊下向けの需要が高まっている」と指摘した。きんぱら（静岡市駿河区）は液体ガラスで加工したヒノキのユニットバスをアピール。高級介護施設などで採用が増えているという。

県産材を使った家具などを売り込んだ商談会
＝10日午後、都内